



平成20年度「観光カリスマ塾」開催概要

<small>かごしまけんいぶすきし</small> 鹿児島県指宿市 (平成20年10月8日(水)～10月9日(木)、1泊2日)	
<p>【塾長紹介】</p> <p>○ <small>ありむら よしこ</small> 有村 佳子 (株式会社指宿ロイヤルホテル代表取締役会長)</p> <p>○ 「『温泉・食』などオンリーワンの地域資源を生かした観光のカリスマ」 鹿児島県の主要観光地である指宿で、浸食傾向にある“砂浜”の再生に、自らが砂浜をつくる会の会長となり、地域一体となって取り組むとともに、天然砂むし温泉や地元の豊かな食材など、鹿児島県が誇るオンリーワンの地域資源を活用し、それに運動を組み合わせた、「食・運動」をキーワードとする新たな観光振興の展開を図ろうと日々奔走している。</p> <p>【テーマ】 「健康発見『平成版IT湯治』オンリーワンの観光」</p> <p>【スケジュール】</p> <p>1日目: 講話(「鹿児島オンリーワンの観光」) 現地視察(有村佳子が自慢する指宿の原点を案内) 体験(天然砂むし温泉入浴) 交流会</p> <p>2日目: 現地視察(「篤姫の足跡をたどる」指宿市今和泉周辺(篤姫観光ガイド)) 意見交換会</p> <p>【募集人数】 20～25名程度</p> <p>【講義等会場】 指宿ロイヤルホテル</p> <p>【最寄り駅等】 JR指宿枕崎線 指宿駅</p> <p>【指定宿泊施設】 指宿ロイヤルホテル(鹿児島県指宿市十二町4232-1)</p>	
<p><担当窓口> 九州運輸局企画観光部観光地域振興課 押井、麦谷 電 話 : 0 9 2 - 4 7 2 - 2 9 2 0 (直通) E-mail : kf-kikaku@gst.mlit.go.jp</p>	

<small>ながのけんおぶせまち</small> 長野県小布施町 (平成20年10月10日(金)～10月11日(土)、1泊2日)	
<p>【塾長紹介】</p> <p>○ <small>からさわ ひこぞう</small> 唐沢 彦三 (前長野県小布施町長、(財)北斎館理事長)</p> <p>○ 「人と花の輝くまちづくりカリスマ」 観光資源の乏しい人口1万人の小布施を、北斎館を中心とした文化 と歴史が溢れ、年間 120 万人が訪れる町へと変えた。また、景観整備や花のあるまちづくりなど、住民が主役となって進める町づくり運動を成功させた。</p> <p>【テーマ】 「『人と花の輝くまちづくり』観光カリスマ塾」</p> <p>【スケジュール】</p> <p>1日目 : 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「人と花の輝くまちづくり」(講師 観光カリスマ 唐沢彦三 氏) ・ 「文化とまちづくり」(講師 東京理科大学・小布施町まちづくり研究所 所長(東京理科大学教授) 川向正人 氏) ・ 「花とまちづくり」(講師 元「NHK 趣味の園芸キャスター」 須磨佳津江 氏) 	

交流パーティー

2日目：講義

- ・ 「人が集まるまちづくり」(講師 観光カリスマ 唐沢彦三 氏)
鼎談「ホスピタリティ(おもてなし)の視点から観光地づくり」
松本大学 観光ホスピタリティ学科 教授 山根宏文 氏
小布施町長(観光カリスマ) 市村良三 氏
観光カリスマ 唐沢彦三 氏

意見交換

現地視察(エクスカージョン)

【募集人数】

50名以内

【講義等会場】

北斎ホール(小布施町役場 隣 公営施設)及び 公民館講堂

【最寄り駅等】

長野新幹線「長野駅」乗り換え長野電鉄「小布施駅」

【指定宿泊施設】

榎一客殿 〒381-0293 小布施町大字小布施 815
おぶせの風 〒381-0201 小布施町大字小布施 475-2
ゲストハウス小布施 〒381-0201 小布施町大字小布施 789

<担当窓口>

北陸信越運輸局企画観光部観光地域振興課 土田、斎藤

電 話：025-244-6118(直通)

E-mail : hrt-kankou@hrt.mlit.go.jp

ぐんまけん 群馬県 みなかみ まち **みなかみ町** (平成20年10月30日(木)～10月31日(金)、1泊2日)

【塾長紹介】

○ かわい すすむ 河合 進 (元新治村助役)

○ 「村民と観光客が共に喜ぶ観光地づくりのカリスマ」

景観、歴史、文化など農村のもつ潜在的な観光魅力に着目し、都会からの観光客とのふれあい・交流に村民が積極的に参加することにより観光振興と地域活性化を促進するという独特の「たくみの里」構想などを推進することにより、村民も観光客も喜ぶ観光地づくりに成功した。



【テーマ】

「住民も観光客も喜ぶ観光地づくり～『たくみ』からはじまる地域の活性化～」

【スケジュール】

1日目：講義「潜在的な魅力を活かした地域づくり」、意見交換会、交流会

2日目：「たくみの里」視察、講義「地域活性化のポイント」

【募集人数】

20～25名程度

【講義等会場】

みなかみ町内

【最寄り駅等】

JR上越線後閑駅

【指定宿泊施設】

受講者へのご案内にてお知らせいたします。

<担当窓口>

関東運輸局企画観光部観光地域振興課 石川、和泉澤

電 話：045-211-7265(直通)

E-mail : ktt-kanan-dm@ktt.mlit.go.jp

【塾長紹介】

- ひらた かつあき 平田 克明（(有)平田観光農園代表取締役）
- 「四季を通じて多角的な観光農園を展開する農村交流のカリスマ」
県職員退職後、農園10haを継承し顧客主体の観光農園を設立、10種類以上の果樹を栽培し四季を通じた周年型の「観光農園」で果物をテーマとした都市農村交流を実践し、園内で採れた新鮮な果実、地元の野菜を用いた特色ある田舎料理店等を展開するとともに、(株)三次ワイナリーや川西地区果実協同組合の取締役を兼務し、地域と協力した農産物加工品を積極的に販売するなど地域に密着した事業を展開している。
今後の取組みとして、地域との連携により、農園を中心とした農業と自然の体験メニューを増やし、特に民泊を中心とした宿泊を伴う誘客形態を構想している。



【テーマ】

「中山間地における観光と地域づくり」
～21世紀の農村観光・交流・定住の「夢の青写真」を描く～

【スケジュール】

- 1日目：ワークショップ①「この地域・廃校の第一印象からあなたはどんな活用をしますか」
講座①「農園見学」
講座②「平田観光農園ドラマ」
講座③「備北地域の資源と観光の発展方向について」
ワークショップ②「21世紀の農村観光・交流・定住の「夢の青写真」を描く①」
交流会
- 2日目：体験「巻きパン作り」
ワークショップ③「21世紀の農村観光・交流・定住の「夢の青写真」を描く②」
グループ発表・講評
まとめ
地産地消バーベキュー

【募集人数】

30名程度

【講義等会場】

「(有)平田観光農園」、上田町まちづくりセンター（ほしはら山のがっこう）

【最寄り駅等】

JR芸備線三次駅、三次バスセンター（送迎バスを用意します）

【指定宿泊施設】

上田町まちづくりセンター（ほしはら山のがっこう）広島県三次市上田町388

※ 廃校利用による施設のため、相部屋といたします。

<担当窓口>

中国運輸局企画観光部観光地域振興課 大畑、片岡

電話：082-228-8701（直通）

E-mail：chugoku-kikaku@cgt.mlit.go.jp

ほっかいどうてしかがちょう

北海道弟子屈町（平成20年11月12日(水)～11月14日(金)、2泊3日）

【塾長紹介】

○ やまだ けいいちろう 山田 桂一郎（JTIC.SWISS 代表）

○ 「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」
スイス・ツェルマツトでの観光局やNPO法人等での経験、世界各地でのプログラム・ツアーの実施経験を活かし、日本の各地域において、講座・セミナーの開催による「サービスクオリティ」の向上や、「プロフェッショナル」のツアーガイドの育成、また自立できる組織づくりや地域性を活かした商品開発など地域観光のコンサルタントとして、各地域の観光振興に大きな役割を果たした。



【テーマ】

地域のリアリティと観光の活性化・エコツーリズムによる観光まちづくり

【スケジュール】

1日目：講義「日本の観光の現状」

懇親会

2日目：講義「スイスで学んだまちづくり」、「地域連携を生かした観光の仕組づくり」、
「地域戦略とツーリズム」、グループミーティング「地域としてのあるべき姿」

※特別講師 JTB 常務 清水慎一氏

意見交換

3日目：「エコツアー市場の動向」、塾のまとめ

【募集人数】

20～30名程度

【講義等会場】

川湯ふるさと館

【最寄り駅等】

JR釧網線川湯温泉駅

【指定宿泊施設】

受講者へのご案内にてお知らせいたします。

<担当窓口>

北海道運輸局企画観光部観光地域振興課 水口、酒井

電話：011-290-2722（直通）

E-mail：hsk-kikakushinkou@hkt.mlit.go.jp

ひょうごけんこうべし

兵庫県神戸市（平成20年11月12日(水)～11月13日(木)、1泊2日）

【塾長紹介】

○ かない ひろのぶ 金井 啓修（有馬温泉旅館「陶泉 御所坊(とうせん ごしょぼう)」主人）

○ 「温泉観光を核にしたコミュニティビジネスでまちのブランド力向上と活性化を進めるカリスマ」

個人客をターゲットとした個性的な宿づくりに成功したばかりではなく、まちづくり全体を考えた集客の仕掛けづくりに取り組み、有馬の住民が温泉観光をまちづくりとあわせて考えようとする意識改革に大きく貢献した。



【テーマ】

「温泉観光でまちづくり(仮)」

【スケジュール】

1日目：まちなか散策、講演(金井塾長ほか)、交流会

2日目：体験

【募集人数】

20～25名程度

【講義等会場】

有馬温泉旅館協同組合会議室ほか

【最寄り駅等】

鉄道：神戸電鉄有馬温泉駅

バス：大阪梅田または神戸三ノ宮から有馬温泉行きバス乗車

【指定宿泊施設】

小宿とうじ(兵庫県神戸市北区有馬町1019)

<担当窓口>

近畿運輸局企画観光部観光地域振興課 梅染、会見

電話：06-6949-6411 (直通)

E-mail：kinki-kankou@kkt.mlit.go.jp

こうちけんうまじむら

高知県馬路村 (平成20年11月20日(木)～11月21日(金)、1泊2日)**【塾長紹介】**

○ 東谷 望史 (馬路村農業協同組合 代表理事専務)

○ 「特産品(ゆず加工品)と共に村をまるごとブランド化に導いたカリスマ」

人口約 1,200 人という林業で生計を立てていた過疎の山村が、昭和 56 年からゆず加工品の販売をはじめ、平成15年には売上が 29 億円を超えるまでになった。東谷氏はこの加工品の開発、生産、販売に携わるとともに、観光地や温泉など村の情報をまるごと売り込む作戦で、馬路村ブランドの確立に中心的な役割を担ってきた。この知名度アップにより、県内外から多数の視察や観光客が訪れるようになるなど、観光交流の面でも大きく貢献している。

**【テーマ】**

「ゆずの加工販売から地域づくり、そして観光産業に」

【スケジュール】

1日目：施設見学

馬路村のビデオ上映

講義(塾長)

意見交換会

交流会(馬路温泉)

2日目：魚梁瀬千本山(杉の美林300年)の案内

【募集人数】

20～30名程度

【講義等会場】

馬路村農協ゆずの森加工場 (高知県安芸郡馬路村)

【最寄り駅等】

・JR土讃線後免駅から土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線乗車、安田駅下車(運行約1時間に1本)

・安田駅及び高知空港から送迎バスを運行予定

【指定宿泊施設】

馬路温泉(馬路村観光協会運営)(高知県安芸郡馬路村大字馬路3564-1)

<担当窓口>

四国運輸局企画観光部観光地域振興課 鋸本、小野

電話：087-835-6357 (直通)

E-mail：shikoku-kikaku@skt.mlit.go.jp

【塾長紹介】

○ 佐藤 和志（乳頭温泉郷（有）鶴の湯温泉代表取締役）

○ 「秘湯の温泉カリスマ」

秘湯ロマンにこだわり、豪雪にも関わらず冬季営業を始め、湯治場風景や自然環境を守るため周辺土地の取得やひなびた姿を残しつつ施設を近代化するなど、乳頭温泉郷の環境保全とイメージアップに指導力を発揮し、全国的な人気温泉地を作り上げた。



【テーマ】

「原風景と木造建築（仮）」

【スケジュール】

1日目：講義、交流会

2日目：現地視察、意見交換、まとめ

【募集人数】

20名程度

【講義等会場】

鶴の湯別館 山の宿 会議室

【最寄り駅等】

秋田新幹線、JR田沢湖線 田沢湖駅

【指定宿泊施設】

鶴の湯温泉（秋田県仙北市田沢湖田沢字先達沢国有林50）

<担当窓口>

東北運輸局企画観光部観光地域振興課 佐藤、今泉

電話：022-380-1001（直通）

E-mail：tohoku-kikaku@tth.mlit.go.jp

<留意点>

1. スケジュール等の開催内容につきましては、変更することがございます。詳細は、各地方運輸局より受講者へ送付する開催案内にてご確認願います。
2. お問い合わせは、各地方運輸局若しくは本省の担当窓口までご連絡下さい。
なお、本件に関して地域等への直接のご照会等のご遠慮願います。